

令和3年度第3回小田原市青少年問題協議会 会議録

1 日 時 : 令和3年10月11日(月) 13時30分~14時30分

2 会 場 : 市役所3階 市議会全員協議会室

3 出席者

- (1) 委員 守屋会長(市長)、杉本副会長、石幡委員、太田委員、後藤委員、塩浦委員、鈴木委員、竹田委員、永山委員、平井委員、本多委員、村越委員、山岸委員、吉田委員
- (2) 事務局 杉崎子ども青少年部長、吉野子ども青少年部副部長、内田子ども青少年支援課長、菊地青少年課長、田代副課長、横山育成係長、菊地主任、神田主任
- (3) 傍聴者 0人

4 次第

- (1) 市長挨拶
- (2) 議 題
 - ア 諮問事項
 - (ア) 小田原市青少年問題協議会答申案について
- (3) 答申書の提出
- (4) 議 題
 - イ 協議事項
 - (ア) 小田原市青少年善行賞について【非公開】
 - (イ) 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考【非公開】
 - ウ 報告事項
 - (ア) 令和3年成人式補完事業及び令和4年成人式について
- (5) その他(事務連絡等)

5 会議の概要

| | |
|---------------------------|--|
| 市長挨拶 | |
| 市長 | 皆様お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。緊急事態宣言も解除された。本市の感染者においても急減したところだが、そのメカニズムが分からないこともあり、引き続き市民の皆様には、感染防止対策をお願いしているところである。前回は育成部会の素案に委員各位から様々なご意見をいただいた。閉会中にも様々な意見をいただいた。その結果、本日は答申案を提出いただくこととなった。改めて感謝申し上げる。特に育成部会の3人にはご尽力いただいた。本日は市長として、いただいた答申書をお受けしたい。市長としての立場と、会長の立場は少し難しい。今回いただいた意見についても、第6次総合計画にはスピード感を持って反映させていきたい。また、本日は青少年健全育成に係る表彰についても議題に上がるためどうぞよろしくお願したい。 |
| 議題 (1) 諮問事項 【議事進行は会長(市長)】 | |
| ア 小田原市青少年問題協議会答申案について | |

| | |
|------|--|
| 杉本委員 | <p>答申案については第1回、第2回の協議会でいただいた意見を反映し、皆さんに内容確認いただいた。昨年11月に市長から諮問をいただき、年明けに育成部会が発足した。内容については小田原市における子ども・若者施策の方向性と青少年問題協議会の在り方についてであった。何度か育成部会を開催し答申案を協議した。皆様からいただいた意見は育成部会では気がつかなかった部分も多くあり、内容の修正、検討をした。答申書は提出で終わりではない。今後も多くの委員に携わっていただきたい。引き続きよろしくお願ひしたい。</p> |
| 村越委員 | <p>答申案について説明する。</p> <p>本日は、この答申案を皆様に採択いただき、答申として提出するので、案内に間違いが無いよう読み上げ形式で説明する。</p> <p>答申案の文言は、事前に委員の皆様にご配布したとおりである。前回皆様にご意見いただいた点を修正し、事前にご確認いただいたものとなっているので、本日の会合では、先程ご案内したとおり、文言の修正についてはすでに調整済みであり、この場ではこれ以上行わないものをご理解いただければ幸いである。</p> <p>文言についてはこのままとなるが、一方で文言には常に解釈というものが付いてまわるので、本日の会議は、こちらの文言を前提に、その解釈について、ご意見あるところを伺い、それを議事録に残すことで、答申案と併せ将来にその意図するところを伝えるための場と捉えていただければと思う。</p> <p>そうした前提のもと、ここで再度今回の答申の意図するところを確認させていただく。</p> <p>今回の答申が意図するところは、小田原市の青少年を取りまく環境の変化に対応しようということである。青少年の非行などを対象の中心とした情報共有の場としての青少年問題協議会は、一定の役割を成功裏に終えたということができると思う。そうした非行活動の防止などにおいて、先人の皆様が大きな努力を重ねてこられたことは言うまでもない。もちろん非行活動が全く無くなった訳ではないが、かつてのような新聞やテレビを騒がせるような暴力的な非行活動については、現代において、状況は大きく変わったということは明らかだと思ふ。そうした、望ましい変化の一方で、それでは討議することがなくなったのかというところという訳ではない。ここ何年かの本協議会をふりかえると、担い手の不足、一部の担い手への過度な業務の集中、青少年を育む家庭環境の多様化、IT技術の進歩に伴い、問題がなかなか表に見えなくなることなど、そうしたことが喫緊の課題であることが度重なり指摘されてきた。</p> <p>こうした問題は、市の業務として青少年課だけの取り組みで解決できるスケールのものでは到底ない。</p> <p>そこで、今回の答申にあたっては、委員の選定段階から、従来の枠組みを踏襲しつつ、取り上げる問題に合わせて必要な知識を持つ委員を適宜、機動的に招聘できるものとしている。また、市の体制としても関連部署が複数合わさって、先ほど指摘しましたような青少年に関して積みあがっている諸問題に対して、具体的な解答を出し、その解決の取り組みを継続的にモニタリングする場として、本協議会を位置づける内容となっている。</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>こうした変化を加えることで今後、適宜、必要な協議事項において、市内の適切な方々にお集りいただき、役所側も横断的に、本気でその解決に取り組める体制ができると考えている。</p> <p>以上のように、今回、皆様のご協力を得て、青少年問題協議会をその長い伝統とこれまでの貢献を踏まえつつ、新たな形に改組することをここに答申としてまとめたものである。</p> <p>繰り返しになるが、本日も提示した答申案については、手続き的にこのままご承認をいただきたいが、そうであるからと言って、今後も一言一句、この答申のままに取り組みを進めなければならないということではない。答申が意図するところは、具体的な課題の解決なので、やってみて上手くいかないことがあれば、それは直していけばいいと思う。とにかくやってみるということが重要である。</p> <p>そういう意味で、本日もお集りいただいた皆様には、ぜひこちらの答申をともに提出することで、問題解決に向けた行動への一歩をともに踏み出すという意識を再度確認していただければと思う。いきなり全てを解決することはできないかもしれないが、どんな小さなことでも、変化を積み重ねていくことで、事態を改善させていくことができるはずだと思う。</p> <p>それは、青少年問題協議会として先人の皆様のお力で、青少年の非行の問題などが大きく改善してきたこと、経験が正に示していることでもあると思う。こうした伝統を踏まえて、小田原市として、今後更に、多様で複雑になる青少年が直面する環境において、課題を発見し解決する、横文字にはなるが、ヒューリスティック、問題自己発見解決的な組織として、改組した組織が機能し続けることに期待を込めて、概要の説明とする。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。報告について何か質問等はあるか。 |
| 会長 | 特に発言も無いようだが、藤井先生から意見はあったか。 |
| 青少年課副課長 | 特にありません。 |
| 会長 | 1年間のご議論ありがとうございます。答申書はこれで確定とする。 |
| 答申書の提出 | |
| 青少年課長 | 答申書が確定したため。答申書の提出をお願いします。 |
| | 杉本副会長から市長へ答申書の提出 |
| | (写真撮影) |
| 青少年課長 | 本協議会の議事録はホームページに掲載するが、今回の答申も掲載することを御承知おきください。 |
| 会長 | <p>次の議題に移る前に、改めてご挨拶させていただく。答申書はこういった他の会議で何度もいただいてきた。その中で、全員が集合しての答申書の提出は初めてだ。それだけ本協議会が一枚岩となって協議してきたことの証だと感じた。答申書はスピード感を持って対応していきたい。条例、施行規則については行政側で反映させていくが、パブリックコメント、議会の承認を経て実施していく。新総合計画でも運用できるようにしていく。青少年問題協議会は長い歴史を持っている。青少年行政に関する様々な支援を変えていくことになるが、変えるというのは舵を切るのではなく、より良い方向へ進めるための変化である。前例がないものにチャレンジしていくことになるが、新たな課題に直面することもあると思う。皆様の魂がこもった答申を施策に反映させていくのが我々の仕事。うまくいかないこと</p> |

| | |
|------------------------------------|--|
| | もあると思う。青少年問題はやればやるほど問題が見えてくるのであろう。組織は新しくなっても引き続き皆様にご支援いただきたい。 |
| 議題（2）協議事項 | |
| ア 小田原市青少年善行賞について | |
| イ 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考 | |
| | 【非公開】 |
| 議題（3）報告事項 | |
| ア 令和3年成人式補完事業及び令和4年成人式について | |
| 育成係長 | <p>成人式補完事業は、令和3年は新型コロナウイルス感染症の拡大で緊急事態宣言が発出されたため、式典のみをオンラインで実施することとなり、新成人が一堂に会し、旧交を温める機会を設けることが出来なかった。そこで「21歳の同窓会」と銘うち、令和4年成人式の前日の1月9日日曜日にその機会を設ける。</p> <p>小田原三の丸ホールで、市長・教育長のメッセージのほか、恩師のビデオレター上映やデジタルサイネージを活用したバーチャル写真館などを予定している。</p> <p>令和4年成人式は、令和4年1月10日月曜日成人の日に、小田原三の丸ホールを会場にして開催する。午前（川西地区）、午後（川東地区）の入替制で、式典のみの実施を予定している。</p> <p>報告事項として項目にはないが、毎年12月の第1土曜日に生涯学習センターけやきで開催している「青少年と育成者のつどい」は、昨年度と同様に会場での開催はせず、作品集の作成、配布とFMおだわらでの優秀作の放送を予定している。同日行う各種表彰の授与も、昨年度と同様に被表彰者に賞状と記念品を個別に発送する予定である。</p> |
| 会長 | <p>令和3年成人式は1月に急に緊急事態宣言が出されて、多くの市町村が成人式を取りやめとした。全国的に見ても成人式が出来なかった世代である。そのため、何とか思い出としてその世代が集まる機会を設けた。同窓会的な集まりになろうかと思うが、新しい三の丸ホールで実施する。引き続き、翌日には令和4年の成人式を開催する。このまま1月まで感染状況が落ち着いていればと祈るばかりである。特に小田原市にとっては、正確に調べた訳では無いが、1,000人単位のイベントはコロナ禍で初めてだと思う。これを皮切りに様々なイベントの在り方を示せるかと思う。</p> |
| 平井委員 | <p>令和4年の成人式は2回に分かれているのに、21歳の同窓会は何故1回開催なのか。</p> |
| 青少年課長 | <p>同窓会的な要素を取り入れるため、着席し続けて式典を見るというイメージより、感染状況によるが、流れのようなものを作りたい。いろいろな条件で写真を撮ったり、会場付近で声を掛け合ったりするイメージ。そのため、全員分の席が無くてよいと考えた。より多くの方へ出席いただけるイベントにしたい。</p> |
| 会長 | <p>他市の事例は。</p> |
| 青少年課主任 | <p>座間市が実施したが、会場が満席になるようなことは無かったと聞いている。新成人が会場に来て、先程説明した流れのような形で集まって帰っていったようである。</p> |

| | |
|-------|--|
| 会長 | 自分自身もどうやって1回でやるのかと思ったが、成人式と全く同じ形ではないことや、普通の成人式よりは参加率が落ちることを想定している。ここでクラスターを起こさないよう感染症対策をとっていく。 |
| 塩浦委員 | 過去の成人式の参加率はどのくらいか。今後の状況は分からないが、国が実証実験を行っている接種証明書の持参は検討していくのか。出来ればやってもらえるといいと思う。コロナ禍になってからは、いろいろな行事が中止になっている。学校現場も同様だ。一つ一つの行事をつないでいくという意識が薄くなっている。文化祭、体育祭、修学旅行を知らないまま卒業する生徒が出てくるかもしれない。そういったことを懸念している。小田原市として対策して実施できるんだという姿勢を見せてくれればいいと思う。 |
| 育成係長 | 例年の対象者は約1,800人。参加者は約1,000人程度である。 |
| 青少年課長 | 感染症対策については、現在は感染者数が抑えられているものの、先の状況は分からない。出来る限りやれる方向で調整していく。接種証明については、ワクチンを様々な理由で接種できない人もいる。ここについては、国・県のガイドラインに基づいて、安心・安全に配慮しながら、接種できない人のことも考慮しつつ実施していきたい。 |
| 会長 | 本市には全部局長が参加するコロナ対策本部があり、そこで感染症対策や大規模イベントはどうするか等を議論しており、そこを市役所として共通認識を持つ場としている。接種証明、PCR陰性証明、抗原検査等もある。現時点で答えを出すのは難しいが、国等の動きを注視しながら、円滑に進められるように実施していく。 |
| 太田委員 | 現役の中高生の母としての意見だが、一般的なライブや催し物を開催する際は接種証明を取ることが有効だと認識している。ただし、成人式等の同世代が集まる際、誰がワクチンを打ったなどは差別につながりはないが、まだ打ってないのかと言われてしまうと、本人たちが少し戸惑うことがあると思う。証明を取ること自体が一般常識になれば意味があると思う。医療機関が進めるようであれば必要なのだと思う。自分の子も、周りの仲間や友人も、自分が対象であったとしたら、接種証明を取ることが成人式の出席への障壁になりかねないのではないかと。 |
| 会長 | ご指摘はごもっともだと思う。今年の夏休みに学校の先生を優先して、ワクチン接種を進めた。更には、受験生に対しての優先接種の機会を設けた。これも学校現場で一斉に接種したらという案もあったが、それぞれの医療機関で接種するか、又は、ある場所を指定してそこに個人で行く、つまり誰が行ったか行かないか分からない工夫をして今日に至っているところもあるので、その点しっかりと受け止めさせていただく。全体としてどうしていくか進め方を検討していく。 |
| 鈴木委員 | 中学生の主張は印刷物のみを配布している。昔はよく聞きに行った。印刷物だけになるととても寂しいと思う。読み上げている音声も一緒に配布しないのか。 |
| 育成係長 | 音声を残すことは大切である。例年やっているFMおだわらでの朗読を実施する。 |
| 吉田委員 | 21歳の同窓会の司会進行や企画運営は運営委員会がやるのか。 |
| 育成係長 | 企画や司会などは運営委員会が行う。 |
| 会長 | 運営委員会は昨年のメンバーと同じか。 |

| | |
|---------|--|
| 育成係長 | 同じである。 |
| その他 | |
| 石幡委員 | 伝統ある青少年問題協議会。先人の努力の甲斐があって今があることを認識している。今日詳しくは話がなかったが、青少年善行賞の問題が残る。善行賞も昔からあると聞いている。この表彰は小田原市にある独特なものなのか。他市に同様の事例はあるのか。報徳の精神との関係はあるのか。 |
| 青少年課長 | 一般的に青少年の範となるものを表彰しようということは他市もやっている。寄付者からの寄付でやっているのが小田原市の特徴である。 |
| 石幡委員 | 報徳の精神とは関係ないのか。 |
| 青少年課長 | 寄付者の御意志でやっている。報徳の精神は規定には書かれていない。 |
| 会長 | 寄付者の思いはあるかもしれない。 |
| 青少年課長 | 村越委員については、答申書を提出したことから本日をもって退任となる。 |
| 村越委員 | 育成部会の役をいただき、今日まで任期が伸びた。様々なスタイルで会議を実施した。それ自体が新しいやり方へのチャレンジだった。ありがとうございました。 |
| 青少年課副課長 | 今年度の会議は本日で終わりだが、委員任期は令和4年9月末であることから、令和4年度当初に会議を検討している。年度末に日程の調整を行うので対応をお願いします。 |
| 会長 | 予定の議題が終了したので閉会する。 |